

平成30年7月12日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

出水による工事現場設備の流出について【最終報】

新丸山ダム建設中の転流工事において、平成30年7月6日の梅雨前線豪雨による出水により、工事現場の仮設設備(防音壁)が一部倒壊し流出した恐れがありました。

このため、現場に堆積した流木等の除去作業を行いながら仮設設備(防音壁)の倒壊状況を確認した結果、仮設設備のうち防音壁を構成するパネル(総重量約35kg)等が下流へ流出したと考えられます。

これまで下流部での巡視等では仮設設備の一部とみられる流出物は確認されていません。

今後、引き続き河川内からも確認を行い、流出物が発見された場合は関係機関にも連絡を行い、速やかに撤去を行います。これをもって最終報とします。



- 解禁 指定なし
- 配布先 美濃加茂市政記者クラブ 可児記者クラブ
- 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長(技術) 永田 基、調査課長 栗山 康弘

電話 0574-43-2780(代表)